

大学図書館近畿イニシアティブ初任者研修アンケート集計

開催日:2005年12月8日(木)～2005年12月9日(金)
会場:関西学院大学大阪梅田キャンパス(K.G.ハブスクエア大阪)

アンケート提出数 70 (回収率100%)

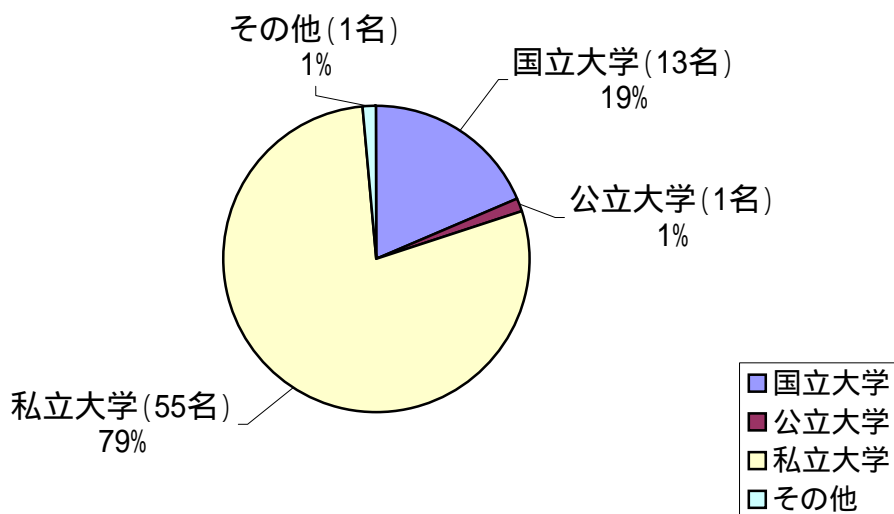
参加者:70名
申込受講者:72名(うち欠席者:2名)

回答者にお尋ねします。

(1)所属機関

所属機関	人数(名)
国立大学	13
公立大学	1
私立大学	55
その他	1
計	70

受講者の所属機関内訳

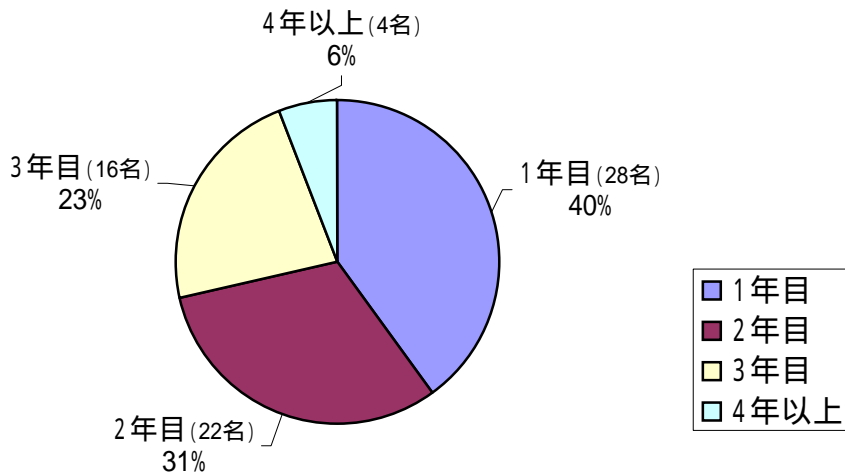


(2)勤務年数

勤務年数	人数(名)
1年目	28
2年目	22
3年目	16
4年以上	4
計	70

(4年目以上の内訳...4年目:3名、7年目:1名)

受講者の勤務年数内訳 (受講生70名)

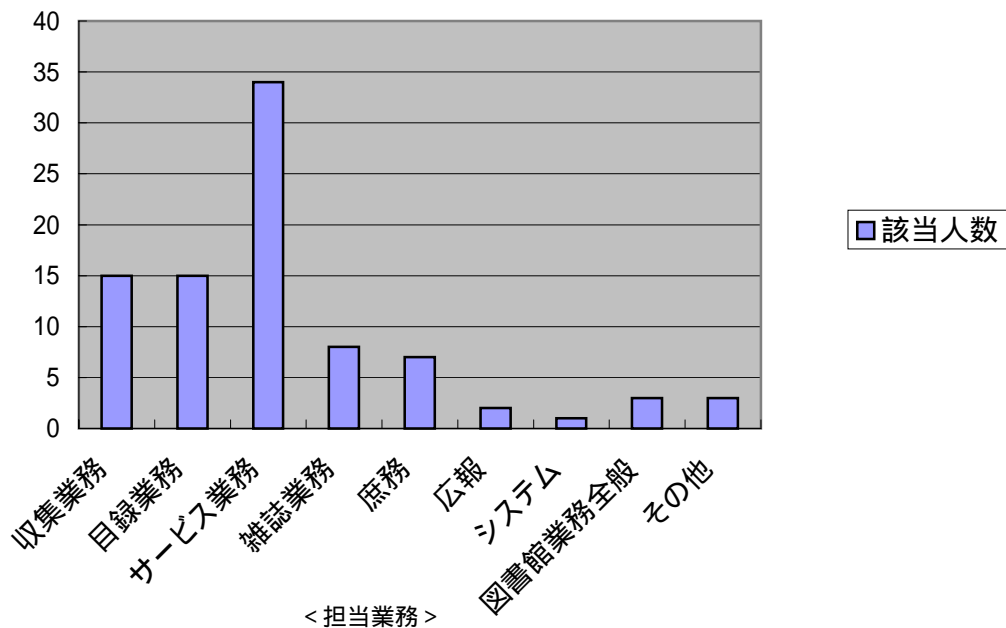


(3) 担当業務 (多数の受講生が複数の業務を担当しているため、のべ人数で集計する。)

担当業務	のべ人数(名)	
収集業務	15	(収集業務...受入、支払、選書など)
目録業務	15	
サービス業務	34	(サービス業務...ILL、レファレンス、カウンター、利用者教育など)
雑誌業務	8	
庶務	7	
広報	2	
システム	1	
図書館業務全般	3	
その他	3	(その他...学生アルバイトの管理、係長業務、資料管理など)
計	88	

受講者の担当業務内訳

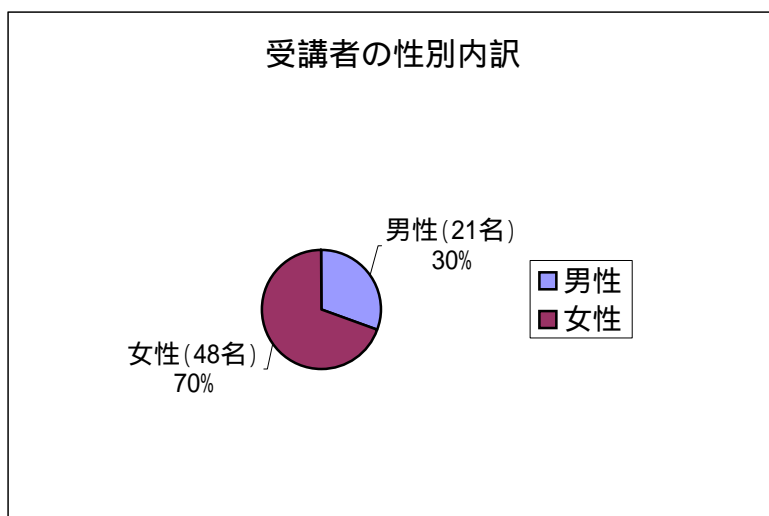
< のべ人数 >



(4)性別

性別	人数(名)
男性	21
女性	48
計	69

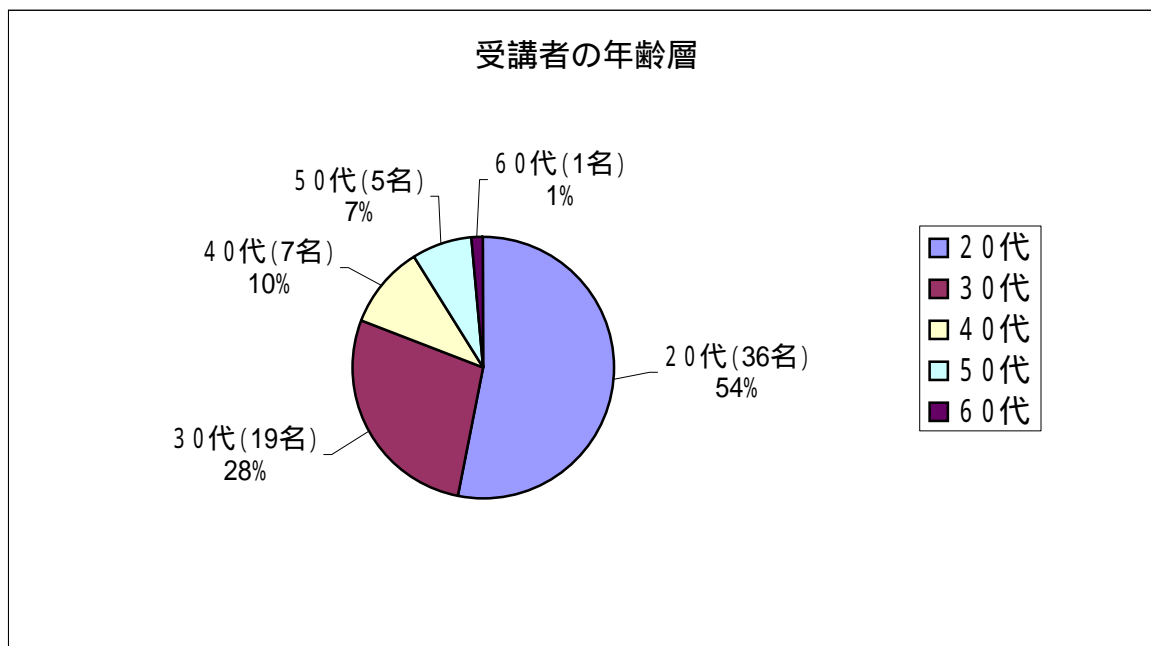
(無記入...1)



(5)年代

年代	人数(名)
20代	36
30代	19
40代	7
50代	5
60代	1
計	68

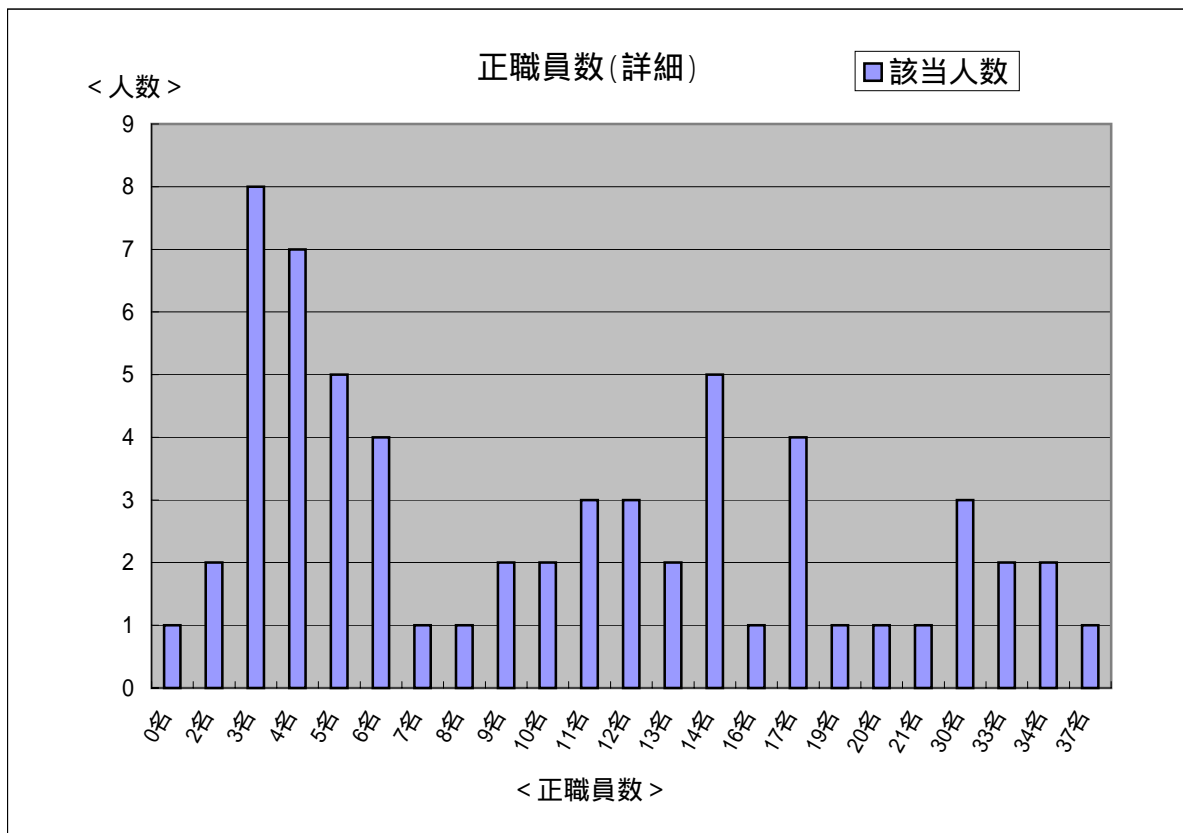
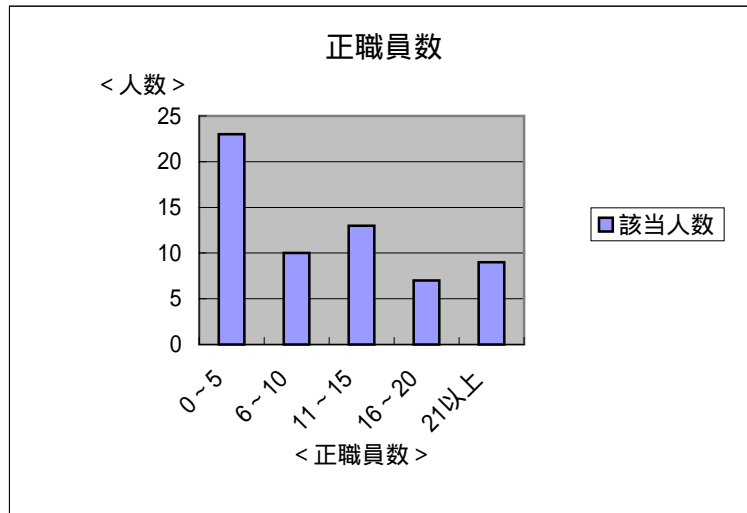
(無記入...2)



(6) 職員数

職員数	人数(名)
0名	1
2名	2
3名	8
4名	7
5名	5
6名	4
7名	1
8名	1
9名	2
10名	2
11名	3
12名	3
13名	2
14名	5
16名	1
17名	4
19名	1
20名	1
21名	1
30名	3
33名	2
34名	2
37名	1
計	62

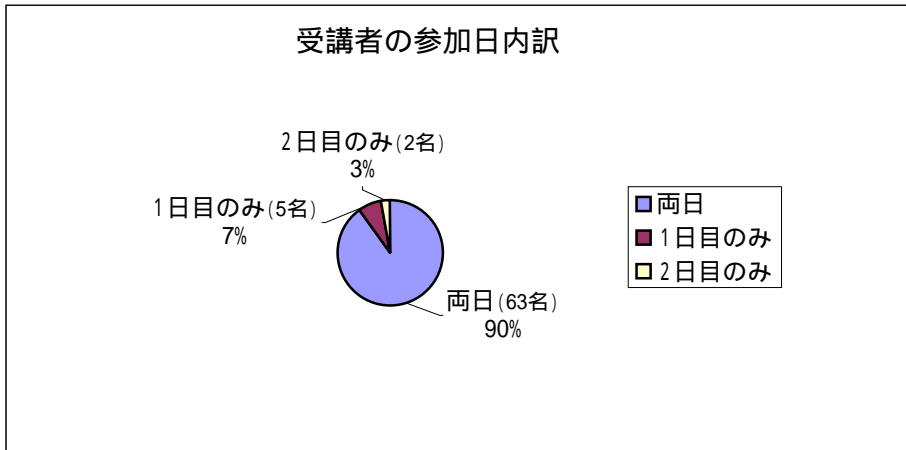
職員数	人数(名)
0~5	23
6~10	10
11~15	13
16~20	7
21以上	9
計	62



研修会について

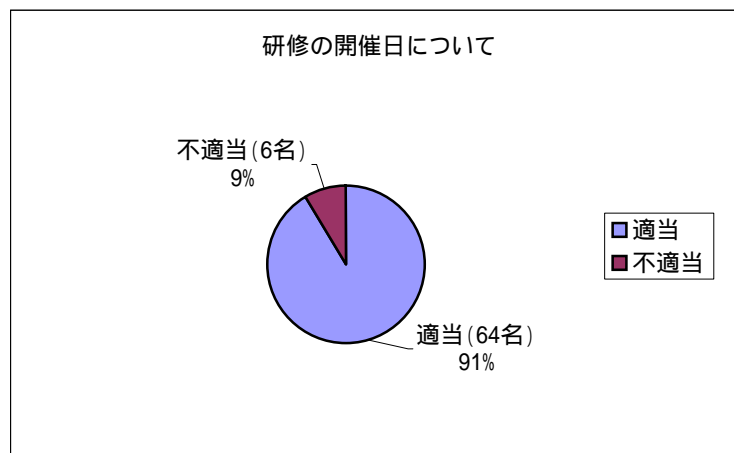
(1)参加日について

参加日	人数(名)
両日	63
1日目のみ	5
2日目のみ	2
計	70



(2)開催日について

選択肢	人数(名)
適当	64
不適當	6
計	70



受講者からの開催日についての意見

(同内容の意見は、代表的な意見に集約し、文末にその該当人数を示しています。)

・もう少し早い時期に開催して欲しい。(4名)

望ましい時期:8月以降、10・11月

理由:早すぎても業務の流れがわからず、研修内容を理解しにくいため。

望ましい時期:夏まで

理由:この研修が図書館業務の導入教育になっているため。

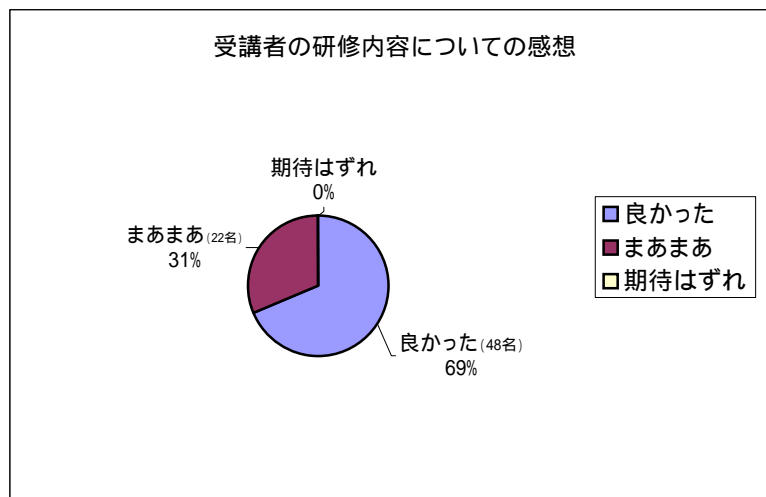
・2日間が日程的によいが、内容が多岐にわたり、ボリュームが多いため、もう少しゆっくり説明していただくために3日間ぐらいあればよかったと思う。

・2日目は、9時開始でもよかったのではないのでしょうか。

・職場に迷惑のかからない、業務に支障をきたさない、日・祝日などの開催がよい。

(3) 研修内容(講義内容、時間配分など全体構成)について

選択肢	人数(名)
良かった	48
まあまあ	22
期待はずれ	0
計	70



受講者からの具体的な意見

(同内容の意見は、代表的な意見に集約し、文末にその該当人数を示しています。)

【満足】

講師について

- ・図書館業務全般についてなので、広く浅くなりがちなもの、講師の方の上手なプレゼンで現状とのからみも取組も知らない分野への足がかりとなった。
- ・講師の方々の熱意が伝わり、とてもよかったです。
- ・それぞれの業務の第一線で仕事をされている方々から経験をふまえて講義をしていただけて大変勉強になりました。
- ・特に初日の2講演(「大学図書館の現状」,「期待される大学図書館員とは - 利用者の立場から - 」)、研修4(「大学図書館サービスの目指す方向性」)、研修6(「情報リテラシー教育について」)のお話は大変参考になりました。
- ・2日目の研修4(「大学図書館サービスの目指す方向性」)、5(「閲覧・参考・ILL業務について」)について、特に勉強になりました。

講義について

- ・図書館業務全体を網羅する内容で大変良かったです。(7名)
- ・日頃担当していない業務についても知ることが出来た。自分が担当している業務について改めて見直すきっかけになった。また図書館の現状について、客観的に考えることができた。(6名)
- ・内容豊富で、有意義であった。(6名)
- ・初任者として知りたい知識を体系的に学ぶことができた。(3名)
- ・時間配分、講義内容すべて良かったですと思います。(2名)
- ・理念と実務関係の両面で充実した講義を伺えてよかったです。
- ・時間的にも適宜休憩もあり、よかったですと思います。

【不満足】

時間配分について

- ・もう少しスケジュールに余裕をもたせて、講義内容を充実させていただけると嬉しかった。説明が駆け足になるものが多かったのが残念です。実務研修にもっと時間を割いて欲しかった。(16名)
- ・2日目の午前中に休憩時間がないのがきつかったです。(3名)

講義内容について

- ・初任者研修ということで、図書館業務の大まかな流れについての講義がほとんどでしたが、もう少し実例を多く含んだ講義が聞きたかった。(4名)
- ・講義内容の質にバラつきがあった。講義によって、興味深く聞けるものとそうでないものがあった。(3名)

- ・担当部分については、納得することも多かったですが、関わったことのない内容については難しく、これから勉強しなければという反省がありました。(2名)
- ・図書館システムの今後についての研修を企画していただきかった。
- ・盛りだくさんでした。

班別討議について

- ・班別討議では、人数が多く、時間が少なく、十分な議論ができず、残念でした。討論の人数を減らし、話し合う回数を増やして欲しいです。(5名)

パネルディスカッション

- ・パネルディスカッションの時間が短すぎた。

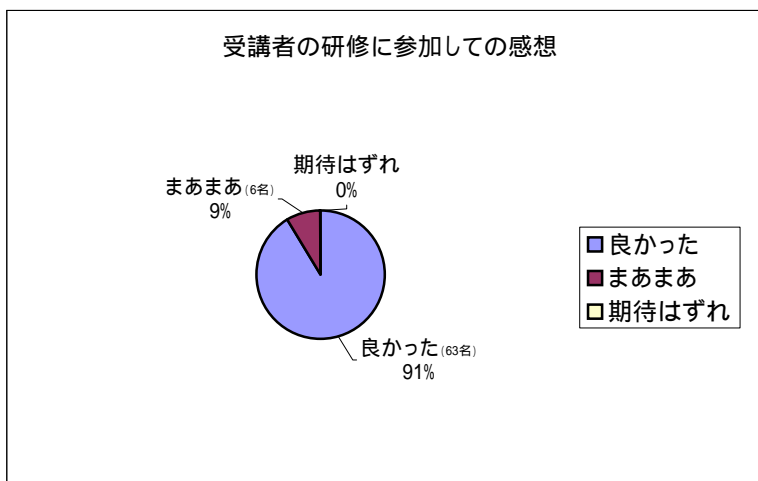
【その他】

- ・所属する組織の問題であるが、専門性を身につける余裕もなく、人事異動が頻繁に行われる状態なので、そもそも根本的に問題があると感じた。

(4) 研修に参加しての感想

選択肢	人数(名)
良かった	63
まあまあ	6
期待はずれ	0
計	69

(無記入...1)



受講者からの具体的な感想

(同内容の感想は、代表的な感想に集約し、文末にその該当人数を示しています。)

受講者同士の交流

- ・多くの他大学の方と話すことができ刺激になった。(28名)

講義

- ・研修については、知っている部分に関しては復習になりましたし、まだ曖昧な知識の部分に関しては、整理ができ、大変有意義でした。(8名)
- ・図書館業務について系統立ててお話が聞けたのがよかった。(5名)
- ・今後の図書館の抱える問題点と、他大学の業務実態の両者が分かり大変勉強になった。
- ・研修4(「大学図書館サービスの目指す方向性」)の講師の話に興味があり、もっと時間があれば具体例ももっと多く聞いてみたかった。
- ・職員の立場でのお話も伺えて、よくわかり勉強になりました。
- ・充実した資料を事前に用意いただき、わかりやすい2日間でした。ありがとうございました。
- ・図書館で働かれているさまざまなタイプの講師の先生を知れたことがよかったと思います。

班別討議

- ・班別討議のテーマが大きすぎて、少し戸惑いました。(2名)
- ・討議でも意見が活発に出され、とても刺激になった。

研修日数

- ・2日間はやはりしんどい(体力的、業務のことを考えると)。

その他

- ・充実していました。
- ・幅広く浅くという印象だったので、せまく深くという研修もして欲しい。
- ・貴重な体験をさせていただきました。このような場を用意していただきありがとうございました。
- ・私は勤務経験は浅いのですが、司書資格を取得したのは5年前なので、その時と比べ、どんどん図書館は、変化してきているの常に新しい情報を取り入れなければならないと思っています。そのために、今回の研修は有意義なものであったと思います。ありがとうございました。
- ・今回の内容を自分の所属機関にあてがった時に、組織の流れと図書館に求められる専門性との強い矛盾を感じる。やはり、固定概念、既成概念を崩す地道なアクションが必要であるが、急速な世間の流れとのギャップにもまた矛盾を感じている。
- ・新たな知識を得たというようなことがなかったが、各機関の構成員が集まって、問題意識を均質共有できたことには意義があったと思う。
- ・何を勉強すればよいか見えてきました。
- ・これから勉強することが山積みであると、再確認した。
- ・全体にとっても勉強になり、明日からの業務に活かしていきたいと思います。
- ・日々の業務に忙殺される中、図書館の方向性や業務の見直しについて、ゆらぐこともあるので、改めて考える機会がもてたのが良かったです。

今後の研修会について

(1) 大学図書館近畿イニシアティブに対して、今後どのような研修企画を期待しますか？

受講者からの意見

(同内容の感想は、代表的な感想に集約し、文末にその該当人数を示しています。)

- ・担当業務別の専門的な研修を企画して欲しい。(26名)
< 具体的な意見 >
著作権、目録、サービス、広報、外国語、資料修復、図書館システム、ハイブリット図書館として対応するための研修など
- ・ステップアップしていけるレベル別の体系的な業務研修をしてほしい。(13名)
- ・事例発表や意見交換会の機会を作ってほしい。(10名)
- ・参加型、実践型の研修を行って欲しい。(7名)
< 具体的な意見 >
ブレインストーミング、プラン作り、プレゼンテーション、ディベートなど
- ・今回のような初任者研修を継続的に行って欲しい。(7名) (今回の研修に対する意見も含む)
- ・どうしても日常業務に追われ、自分でまとめた勉強をすることが難しいため、研修という形で集中的に学べる機会をもてることはありがたい。
- ・ターゲットを明確にしたこのような研修は有用なので、今後ともよろしく願いいたします。
- ・館の規模に応じた内容を企画してはどうか。
- ・継続ある企画なら何でもOKです。

(2) 現在、また将来の図書館の課題は何だとお考えですか。また、あなたの大学図書館、図書館職員の課題は何でしょう。可能な範囲でご記入下さい。

受講者からの意見

(同内容の感想は、代表的な感想に集約し、文末にその該当人数を示しています。)

【図書館職員の課題】

- ・図書館員の専門性とは何かを考え、それを身につけること。(24名)
　　<具体的な意見>
　　情報リテラシー能力、レファレンス能力など
- ・マネジメント能力が必要だと思います。(2名)
- ・話すという力が私自身を含め弱いと思います。プレゼンテーション能力を高めていくような職員が増えるといいと思います。
- ・職員そのもののモチベーション。一人一人が明確なビジョンを持てること。
- ・図書館職員の存在意義に対する説明責任。

【図書館の課題】

人材育成、専門性の維持

- ・人材育成、知識・技術の継承をどう行うか。(17名)
- ・職員間、職種間での連携。(3名)
- ・職員の意識改革。(3名)

アウトソーシング

- ・アウトソーシング。(3名)

予算面

- ・予算確保。(2名)
- ・予算の効率的な活用。(2名)
- ・外国雑誌の値段が上がっていくこと。
- ・値上がり続ける電子資料に対する予算要求。

図書館の存在意義、価値

- ・図書館の存在意義、役割を明確にする。(9名)

学内外での連携

- ・教職員、学生との連携。(4名)
- ・他大学の意見を広く取り入れ、結果を決めずにトライしてみることが肝要。

利用者サービスの向上

- ・図書館サービスに対する認知度、理解度を高める。(5名)
- ・利用者に信頼され、気軽に立ち寄れる図書館にすること。(5名)
- ・自館の課題は、地域開放。
- ・レファレンスを含めた学習支援が所属大学図書館での課題です。館員のレファレンス能力向上。

その他

- ・マネジメント能力。(2名)
- ・大学図書館の閉鎖性、意見のボトムアップされない構造。
- ・選書規準の公開の必要性。
- ・大学のカリキュラムや時代の変化にどの程度、またどのように対応していくかが課題だと思います。
- ・研修の内容とあわせて、やる気の出てくるような内容でよかったですと思います。様々な大学の取組を具体的に聞くことができ興味深かったです。少しくらいやましくもあった。職場に戻れば、日々の業務に精一杯で、「新しいことを始める」、「変える」ということまで、手が届かないような弱気にもなるのですが、気持ちを維持していきたいと思います。ありがとうございました。

その他ご意見がありましたら、ご記入下さい。

研修全体に対して

- ・想像以上にエキサイティングな研修で面白かったです。リアルタイムの図書館の流れに取り残されないよう自己啓発していきたいと思います。
- ・本当に充実した2日間でした。情報交換会では普段お話しする機会がめったにない他大学の部長とご一緒させてもらい有意義な時間を過ごすことができました。このような機会があれば、ぜひ参加させてもらいたいと思います。ありがとうございました。
- ・様々なテーマ、内容の講義をバランスよく学ぶことができ、今回の研修はとても有意義でした。
- ・このような研修に参加するのは初めてでしたが、大変有意義でした。講師の皆さま、スタッフの皆さまありがとうございました。
- ・今回は参考となるお話がたくさんありました。講師の方々、スタッフのみなさんありがとうございました。
- ・幅広い講師陣の方を揃えて下さり、また準備等ありがとうございました。
- ・研修5(「閲覧・参考・ILL業務について」)でふれられておられましたが、現状を解決する場や方法も生まれればと思います。
- ・何を身に付けていけばよいか、何を参考にすればよいか。情報がありすぎてわからなかったことが、今回の研修の講義、その中での参考文献等の紹介で、明白になった。その中から、まずは自分の日々の疑問に感じていること等、合致するものを選択し、学んでいきたい。図書館員としてのみならず、今後の大学職員としても必要なこと、役立つことが見えてきた気がする有意義な研修であった。
- ・国公立のカベを超えて、色々な大学の意見、現状を知ることができ、また基礎知識の向上も出来とても有意義な2日間でした。参加させていただき感謝しています。

講義について

- ・初日午前の講演(「大学図書館の現状」)は刺激的で意識改革と言う点で大変良かったです。また、研修4(「大学図書館サービスの目指す方向性」)のお話も大変参考になりました。話し方も上手だったので、聞いてても全くあきず、どんどん引き込まれてしまいました。
- ・情報検索は難しい内容でした。

班別討議について

- ・共同討議の難しさを知りました。10人以上は多すぎて集約が難しかったので、せめて5~6人、またテーマをもう少し狭いものにしないとあの時間では無理なような気がします。
- ・記録を担当しましたが、討論と発表は昼休みを挟むなどご配慮下さい。あとパワーポイントを作る環境だと嬉しいのですが…。
- ・班別討議のテーマがわかりにくい。

時間配分について

- ・休憩時間が短く、女性は大変だと思います。
- ・内容が充実しているたので、もう少し時間があればと感じました。
- ・タイムスケジュールに無理を感じる。

その他

- ・座席が3人がけだったので、少し窮屈でした。
- ・事前のアンケートで書きにくい設問が多い。
- ・情報交換会は立食の方が色々な人と話せていいと思います。
- ・意見交換会には出なかった人とコミュニケーションが取りづらかったと感じました。他大学の方ともっと話す機会が欲しかったです。
- ・現在、正職以外の職員の図書館業務に占める割合が多くなっておりませんが、カウンター業務などで実際業務にかかわるそれらの職員への研修をもっとしてほしい。
- ・意味深い働きだと思うので、ゆくゆくは運営側として関係したい。
- ・図書館が提供すべきサービスとは何かについて、色々な意見を聞いてみたい。
- ・この研修が定着して、出来るだけ初任者の多くが受講できるように工夫をお願いします。